

令和5年度

# 事業報告書

社会福祉法人 あゆみ園

## 本部事業報告

### はじめに

令和5年度のあゆみ園の事業運営につきましては、新型コロナウイルス感染症が5類の移行したことから徐々に行事を再開し、6月には大掃除と保護者会を4年ぶりに開くことができました。また、日帰旅行も復活し利用者、職員とも久しぶりの外出となり大いに楽しむことができました。特に利用者の皆さんは食事を楽しみにしていた様子でにぎやかな食事会となりました。しかし、法人全体での納涼祭、運動会や新年会といった大きなイベントは依然として控えている状況ですが、各事業ごとに工夫を凝らし季節の催しについては実施することができました。

また、今後の経営改善による健全な経営に向け事業の再編を行いグループホームぼくんち、にゃんきちを廃止し、独立行政法人福祉医療機構の経営診断による指摘事項の解決に務めました。

### 1、管理運営体制

令和5年度は評議員会を2回、理事会を6回、監事監査を1回開催しました。また、理事会前に経営会議を開催し、理事会等に提案する議案について検討しました。

監事監査	5月26日(金)	令和4年度決算監査
第1回理事会	6月6日(火)	令和4年度決算及び事業報告他
定時評議員会	6月22日(木)	令和4年度決算及び事業報告他
第2回理事会	6月22日(木)	理事長、業務執行理事選定
第3回理事会	9月28日(木)	職員給与の一部改正他
第4回理事会	11月29日(水)	令和5年度上半期収支計算報告他
第5回理事会	2月21日(水)	職員就業規則の一部改正他
臨時評議員会	3月21日(木)	おれっちの廃止について他
第6回理事会	3月29日(水)	令和6年度予算及び事業計画他

### 2、経営分析の結果

決算状況等からの経営分析の結果は、収入支出ともに縮小していますが法人全体の収支については、プラスとなりました。これまで収入に対する人件費の割合が比較的高いとの指摘されていましたが令和5年度は正職員の自己都合による年度途中での退職者が5名いたことから人件費支出が減少したものです。また、利用者が定員に満たない事業については、定員を満たすための鋭意努めてきました。なお、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、まだまだ注意が必要で感染した場合は事業所閉鎖など収入に直結することから感染防止に努めてまいりました。今後は、人員の確保と適正規模の事業運営を目指し、収支バランスの取れた事業所経営を目指します。

### 3、公益活動

社会福祉法人改革に伴い社会福祉法人は、地域における公益的な取組を実施することが求められています。あゆみ園では、栃木県内の社会福祉法人で構成される地域における公益的な取組推進協議会が主催する「いちごハートネット事業」に参加し、地域における様々な福祉課題に対する相談窓口を設置しています。また、栃木市が行っている「くらしだいじネット事業」にも参加し、障害者等の重度・高齢化、親なき後等に備えた緊急支援体制の一端を担っています。災害時の活動としては、大規模災害時における広域支援を行う栃木県災害福祉支援チームに職員2名を登録し、県の要請に応じて職員を派遣できる体制を整えています。

## 保健事業報告

はじめに

新型コロナウイルス感染症が5月に感染分類2類から5類に変更になりましたがホームみどりの一時帰省・面会の制限は今まで通り継続してきました。救急法講習会は開催することができました11月までは職員、職員家族の新型コロナ陽性者が見られましたが、利用者の発症は感染症対策の効果もありみられなかった。12月以降GHみどりで外部の施設利用者の陽性をきっかけに同じ棟で感染者数名みられたが他の棟や他の事業所に感染拡大することはなかった。感染症対策により防げたことと考える。1月にはあゆみ利用者のインフルエンザ陽性者が数名見られたがグループホームやめぐみ事業所に感染拡大することはなかった。

1年間を通してインフルエンザ陽性・新型コロナ陽性の利用者・入居者・職員から重症者はいなかった。

新型コロナウイルスワクチンの成分変更となった為GHみどりでは11月にご家族様にワクチン接種希望の確認、新たな入居者に対しても同様にワクチン接種希望の確認を実施後に接種をした殆どの入居者は7回目を実施、未成年の入居者は2回目まで実施。

副反応の経過観察を行ったが軽度の症状は見られたが重症者はみられなかった。

職員の新型コロナ検査はキットの期限切れとなった2月末日で終了となった。体調不良時は医療機関受診となった。次年度4月からは食事中の飛沫防止ボード撤去と決定。

業務内容

- ・嘱託医による巡回相談
- ・医療的処置
- ・体調不良や怪我・皮膚疾患による緊急時通院
- ・利用者の用具補助申請
- ・職員の生活習慣病検診実施
- ・利用者生活習慣病検診実施
- ・感染症など勉強会
- ・感染症対応指針による職員指導
- ・ワクチン(インフルエンザ、新型コロナウイルス)接種
- ・相談支援専門員、生活支援員、他事業所との連携、健康相談

健康管理について(結果)

時期	項目	対象			合計
		グループホーム	日中活動事業所	職員	備考
毎日	体温測定				
毎月	体重・血圧測定		47名		
	嘱託医巡回相談		47名		
5月	コロナワクチン接種	24名			
7月	救急法講習			9名	
10月10日	生活習慣病健診	24名	結核健診30名		
11月9日	インフルエンザワクチン	23名	30名	45名	
12月	コロナワクチン接種	25名			

## 調理事業報告

はじめに

令和5年度の調理事業については、次のとおりです。

- ① あゆみ 昼食を提供(食堂にて)
- ② すてっぷ 昼食を提供(料理をすてっぷに配達し支援員と配膳、食器洗浄)
- ③ めぐみ 昼食を提供(料理をめぐみに配達し支援員と配膳、配食器具洗浄)
- ④ ホームみどり 朝夕食、休日昼食・午後3時の手作りおやつを提供、季節に応じた特別メニューを提供
- ⑤ 短期入所、日中一時 朝昼夕食を提供(食堂にて)
- ⑥ 職員 朝夕食を提供(当直勤務の職員のみ)

献立は業務用献立配達業者「タイヘイ株式会社」に部分委託

< 概ね達成できたもの >

1、誕生月の利用者に施行調査を行い、希望メニューを月に2回提供することで、利用者の嗜好に添えるものを提供することができました。

\*栄養面での偏りを考慮し、カルシウム・タンパク質・鉄分・ビタミン類を補えるようメニューに組み入れ提供しました。

2、栄養改善について

(1) ホームみどり上記1\*について栄養価月報を作成し栄養の改善に努めました。

(2) 朝食のみあゆみ献立で提供し、栄養価月報を見直し改善に努めました。

(3) 給食施設における栄養、給食管理等の状況把握の為に給食実施報告書を年2回(5月・11月) 県南健康福祉センターに提出し、給食喫食者の栄養の改善及び健康の保持増進を図り、栄養管理に努めました。

3、衛生管理について

(1) 害虫駆除 5月、11月に実施

(2) 検便検査を毎月実施

(3) 自主衛生管理(HACCP)に沿った衛生管理の徹底(給食日誌・個人衛生チェック表・食品衛生チェックリスト・検食簿・環境衛生)に努めました。

(4) 原材料受け入れ時の交差、二次汚染防止に努めました。

(5) 配膳前後、感染症防止のため都度の消毒を実施し感染症対策に努めました。

4、災害時非常食対応 各事業所に提供できる体制を整えました。

5、ホームみどりの休日の午後3時に手作りおやつを提供しました。

## 指定生活介護事業所あゆみ事業報告

はじめに

令和5年度は、18名でスタートしましたが、6月より19名となり、2月に18名となり3月に契約者19名となっております。また、新型コロナウイルス感染症予防のため、各ご家庭で自粛という判断をされる方もおり、利用状況は以下の通りとなっております。

見学や利用の希望者は何件かありましたが、ご利用には繋がっていません。しかし、生活介護希望の実習生を積極的に受入れることで、卒後の利用に繋げることが出来ました。

今年度は、数年ぶりに自粛していたグループ別旅行やご家族参加の大掃除を実施することができました。

利用実績

定 員	20名
契約利用者	19名（内 週3日利用者 2名、週2日利用者1名、週1日利用者 1名）
月別契約利用者	18名（4・5月）
	19名（6・7・8・9・10・11・12・1月）
	18名（2月）、19名（3月）

（利用状況）

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	23	22	21	22	22	22	22	22	22	21	22	263
1日平均利用者数	15.1	14.7	16.1	16.3	16.1	15.9	16.0	16.6	16.1	15.7	13.7	15.5	15.6

（事業実施状況）

事 業	実施日	参加人数	事 業	実施日	参加人数
七 夕 会	7月7日	全 員	クリスマス会	12月21日	全 員
			もちつき会	12月28日	
あゆみ夏まつり	8月21日	全 員	あゆみ新年会	1月24日	全 員
グループ別旅行	10月20日				
あゆみ運動会	11月15日	全 員	節 分 会	2月2日	全 員

1、概ね達成できたもの

- ・散歩の機会の提供と共に、新たな散歩ルートを確認し気分転換を図るなど、個々の体力や情緒に合わせて提供することができました。
- ・作業活動は生産性だけを重視するのではなく、利用者の気持ちに寄り添い配慮しながら、活動に参加することができました。
- ・検温、マスクの着用、施設内及び送迎車の消毒、定期的な換気、飛沫防止ボードの設置など感染症予防を徹底し、安心してご利用いただける環境を整備することができました。
- ・感染対策をしながら、数年ぶりにグループ別旅行を実施することができました。

2、達成できなかったこと

- ・感染症予防の面から、ボランティアの要請や介護体験実習生の受け入れなどは、積極的に行うことができませんでした。
- ・家族の参観や懇親会など家族との関係構築の場は設けられず、電話での対応となりました。

## 生活介護事業所すてっぷ事業報告

はじめに

令和5年度は、定員20名・利用契約者22名でのスタートとなりました。5月に2名の方が退所となりましたが、7月には3名の新規利用者を迎え、利用契約者23名となっております。

### 1、利用実績

定員 20名  
 利用契約者 22名（4月、5月）  
                   20名（6月）  
                   23名（7月～3月）

（利用状況）

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	23	22	21	22	22	22	22	22	22	21	22	263
1日平均利用者数	20.5	19.9	19.5	20.7	17.6	20.7	20.7	20.3	20.6	18.0	20.8	21.4	20.0

（事業実施状況）

事業	実施日	対象者	事業	実施日	対象者
納涼祭	9月5日	全員	クリスマス会	12月19日	全員
運動会	10月24日	全員	新年会	1月23日	全員
グループ別旅行①	11月28日	希望者	誕生会	毎月	全員
グループ別旅行②	12月12日	希望者	季節の行事	随時	全員

### 2、概ね達成できたもの

＜日常生活支援＞

- ・晴天時は市内の公園を中心に散歩を行ない、雨天時には室内にて軽運動に取り組み健康面、身体機能の維持に務めました。事故や怪我の無いよう年齢や身体機能、状態に合わせた内容や支援を行ない安全に支援することが出来ました。

＜余暇活動・社会参加＞

- ・グループ別旅行を2グループに分けて行い、楽しみながら自然や社会のルールに触れることが出来ました。
- ・栃障協による永野川緑地公園の清掃に参加し、一人ひとりが地域で生活している事を感じられるように関わっていきました。
- ・栃障協による運動公園の清掃に参加し、清掃を行ないながら他施設との交流を図ることが出来ました。
- ・季節の行事をはじめ、レクリエーションにて室内装飾を行うことで、季節感を感じられるようにしました。

<作業>

- ・作業の内容を選択できるようにし、ご本人の希望に沿った作業を提供しました。  
選択が出来ることにより、作業への意欲向上へと繋がりました。

3、達成できなかった事

<日常生活支援>

- ・利用者さまの障害特性に応じた支援が不足していた場面があり、落ち着いた環境が提供できていない場面がありました。会議を積極的に行ない利用者さまへの理解を深めていきます。

<作業>

- ・利用者さまよりコイの餌作りを行ないたいと訴えが多くありましたが、餌となるパンを近隣のパン屋等で安定的に頂くことが出来ず利用者さまの意向に添った作業提供することが出来ませんでした。
- ・作業の事前準備が出来ていないことがあり、利用者さまを待たせてしまう場面が見られました。職員間で情報共有を行ない当日の予定を全職員が把握できるように努めます。

<余暇活動・社会参加>

- ・月2回を予定していた地域清掃を行うことが出来ませんでした。
- ・全員での外出は行うことが出来ましたが、小グループで個々の希望に考慮した機会を設けることが出来ませんでした。

## 指定就労継続支援B型事業所めぐみ事業報告

はじめに

令和5年度は、利用者契約者26名でスタートしました。

その後、新規利用者（11月1名、3月1名）、退所者（5月1名、7月1名、12月2名）となり、令和6年3月31日現在、利用者契約者24名となりました。

グループホーム9名（みどりより7名、他より2名）、自宅より15名の方が通所利用されています。

令和5年度利用実績

定員20名      利用者24名

(利用状況)

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	23	22	21	22	22	22	22	22	22	21	22	263
平均1日利用者数	22.0	22.1	21.9	21.6	21.0	22.0	21.5	20.7	20.0	17.6	18.8	20.3	20.8

(事業実施状況)

事業	実施日	参加者	事業	実施日	参加者
納涼祭（夏まつり）	8月25日	22名	運動会	10月13日	21名
G別日帰り旅行A	11月1日	10名	G別日帰り旅行B	11月2日	12名
クリスマス会	12月25日	21名	新年会	1月17日	19名

利用者と職員のみで実施しました。また、七夕会（7月4日）、お月見会（9月26日）、ひなまつり会（2月29日）なども実施しました。

【作業活動について】

令和5年度年間工賃支給額は3,164,519円で、1か月の平均工賃額は12,740円でした。令和4年度の月の平均工賃額は12,056円でしたので、今年度は前年比105.67%となり平均工賃額は増額しています。

【概ね達成できたこと】

- ・契約利用者を増やすために、市内外の特別支援学校の実習生の受け入れや、見学者の受け入れを感染予防をしながら積極的に実施しました。
- ・事業所単位の行事・イベントは、感染予防対策をしながら実施することができました。
- ・災害時避難確保計画に基づき、引き渡し訓練、避難訓練を実施しました。



主な取引先及び年間収益一覧

取引先、作業名	年間収益 (円)	備考・作業内容など	前年比 (%)
(下請け軽作業) 中央パッケージ	1,234,571	ゼブラ製品のパッケージ詰め、箱詰め	118.0%
光栄電機	18,872	断熱シール貼り	44.7%
トップ工業	141,600	金属のカット折り作業 (車のマフラーに使用)	111.8%
アータマ	149,253	スポイトバリ取り作業	75.8%
栃木法人会	117,595	定期発行物 (法人便り) の袋詰め、発送	97.9%
籠谷いちご園	26,850	いちごの箱折り作業	72.8%
尾花いちご園	33,000	いちごの箱折り作業	100%
アイ・シイ・エス	575,523	ろう材前のリング入れ	95.6%
(委託事業) 栃木清掃サービス	80,611	資源回収、(毎月第3週火水木) 新聞・段ボール、アルミ缶、雑誌等	68.1%
関口商事	518,078	資源回収 (約17社) 新聞、段ボール、アルミ缶、雑誌等	60.0%
マザーハウス	96,000	小山アパート清掃	106.8%
(自主製品) 農産物販売	87,000	ブルーベリー、黒大豆等の栽培	96.8%
洋裁	8,650	手作り小袋、巾着など	432.5%

※主な取引先および作業のみ記載

## 指定短期入所事業所あゆみ事業報告

### はじめに

令和5年度は、市内外含め30名以上の方にご利用していただくことができました。また、コロナ禍ではありましたが、感染状況を見ながら感染対策をより徹底することで、施設見学やご利用に繋げることができました。突発的な受け入れなども調整をして、可能な限りご要望に沿ったサービスの提供をすることができました。施設内での感染や職員体制により、一定期間、事業休止をせざるを得ない時期もありました。

### 1、利用状況

延べ利用者数 1, 244人 一日平均利用者数 2.02人

(令和5年度 延利用者数1, 585人、一日平均利用者数2.96人)

(利用状況)

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
延利用者数	101	117	105	109	104	100	103	108	102	99	86	110
1日平均利用者数	2.13	2.29	2.17	2.1	1.94	1.9	2.1	2.17	1.81	1.97	1.66	2.03

### 2、具体的な活動内容

- ・利用者及びご家族の利用目的を聴きとり、可能な限り希望に沿ったサービスを提供しました。
- ・新型コロナウイルス感染により、営業を停止せざるを得ない日もありましたが、適切な対応により施設内クラスターになることは、ありませんでした。
- ・ご家族の不調などの緊急時に優先的に利用していただけるよう調整しました。
- ・快適に過ごしていただけるよう、定期的に居室の清掃や季節に応じた寝具の提供を行いました。
- ・栃木市くらしだいじネット（緊急短期入所）の受入れに協力しました。
- ・感染対策として、日々の清掃に加え施設内の消毒を徹底しました。利用者及び職員の検温を1日2回行うことで不調や変化に直ぐに気が付けるようにしました。食事や活動の場所に、飛沫防止ボードの設置をすることで安心して過ごせるように整備しました。

### 3、今後の課題と目標

感染対策を徹底し、安心して過ごせる環境でサービスの提供をすることで、365日の営業を目指します。また、万が一感染者が出た場合は、BCPに基づき適切に対応し感染を最小限に留められるようにします。現在、特別支援学校寄宿舎閉舎の問題が上がっている中で、短期入所の問い合わせが増加傾向にあります。今後、ご家族や学校関係者、相談支援専門員の方々からのニーズに法人としてどのように対応をしていくのかが課題の一つと思われれます。

## 指定居宅介護等事業所さんぽ道事業報告

### はじめに

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更されたことにより、当初は従前通り慎重な対応でしたが徐々に利用を増やしたことからコロナ前に戻りつつあります。また、新規の利用希望などもありますが、ヘルパーの確保が難しいため、対応が可能な方から受け入れを行っている状況です。

職員体制は、ヘルパー不足を解消することが出来ないため、サービス提供責任者1名、常勤ヘルパー2名、登録ヘルパー3名で業務を行い、新たな利用者獲得及び研修や資格取得などヘルパーのスキルを高めることで利用者増に務めました。

### 1、利用者へのサービス提供について

- ・保護者や各関係機関、相談支援員とも連携しながら、利用者本位の要望に沿ったサービスを提供しました。ヘルパーの支援体制や利用者の希望日が重複するなど利用希望に対応出来ないこともありましたが、時間や曜日及びヘルパーのシフトなど希望に応じられるよう可能な限り調整いたしました。
- ・利用者の利用状況や身体状況に応じて、きめ細かなサービスの提供を行いました。その都度個別の対応が必要な場面もありましたが、ヘルパーの的確な判断によるサービスを利用していただけました。

### 2、ヘルパー資質向上について

- ・事業所内での勉強会や研修など開催することができるようになったことから全員で必要な情報の共有、資料の配布や各自で勉強できるよう利用情報の提供等、資質の向上に努めました。
- ・外部研修などへの参加について提供することが出来ませんでした。状況に応じた対応ができるよう内部研修の充実に務めました。

## 指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ホームみどり事業報告

はじめに

令和5年度は、5月9日付けで1名退去されましたが、6月1日、7月1日、7月10日、2月1日に1名ずつ入居され、最終的に27名の方が入居されています。

利用者の重度・高齢化が進んでおり、毎日の体調管理はもちろんですが、身体的な機能低下もあり転倒などの怪我への配慮も必要になっています。

### 1、利用実績

定 員 30名

契約利用者 25名（4月）、24名（5月）、25名（6～7月）、26名（7～2月）、  
27名（2～3月）

延べ利用者数 9,377人

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
延利用者数	720	725	732	797	806	779	806	780	806	806	783	837
1日平均利用者数	24	23.3	24.4	25.7	25	25.9	26	26	26	26	27	27

### 2、日常生活支援について

利用者の状況に応じて、食事、排泄など必要な支援を適宜提供してきました。入浴に関しては人員不足等により、以前のような毎日の入浴支援の提供が困難になってしまいました。

### 3、健康面について

毎日の検温、体調観察などを行い、日中活動事業所とも協力することで利用者の健康管理を行ってきました。定期通院や体調不良時には看護師、居宅介護事業所とも連携を図り、通院・日中の対応などを行ってきました。

日常的に手指の消毒や手洗いなどを励行し、風邪などの予防に努めました。利用者の高齢化・身体機能の低下により、転倒等の事故の発生がありました。

### 4、余暇活動、外出支援、社会参加について

居宅介護事業所と連携し、利用者の状況や希望に応じた移動支援の内容を提供出来るように努めました。

### 5、日中事業所との連携について

日中活動事業所として利用している生活介護事業所すてっぷ、就労系事業所めぐみ、なすびの里生活介護事業所あいのいえと常に連携を取り、相互に協力しながら利用者の生活支援を行うことが出来ました。

### 6、防災、避難訓練について

あゆみ園の防災規定に基づき、避難、通報訓練を実施してきました。しかし、天候によっては避難訓練を実施出来ず、通報訓練のみになることもありました。

## 指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ホームおれっち事業報告

はじめに

ホームおれっちは、ぼくんち・にゃんきち各6名の計12名の定員で、年度当初は、ぼくんち5名・にゃんきち4名の利用でした。1月にぼくんち1名・にゃんきち1名の利用者の退所があった為、年度末の時点でぼくんち2名・にゃんきち2名の計4名の利用状況です。

なお、ホームおれっちは令和5年度末で廃止となりました。

### 1、利用実績

ホームにゃんきち 定員 女性6名

利用者 4名（4～12月）、3名（1月）2名（2月～3月）単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
1日平均利用者数	3.9	3.7	3.9	3.9	3.7	3.7	3.8	3.9	3.6	2.7	1.4	1.9

ホームぼくんち 定員 男性6名

利用者 5名（4～12月）、4名（1月）3名（2月）2名（3月）単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
1日平均利用者数	4	4	4.1	4	3.8	3.9	4.1	4	3.5	3.4	1.4	1.4

## 指定特定・一般・障害児相談支援事業所ぴあん事業報告

### 1 指定特定相談支援事業

本事業は、障害福祉サービスを利用する方には必要であるサービス等利用計画の作成を主としたものです。令和6年3月31日現在の計画作成者数は約150名で、あゆみ園の利用者に限らず、他法人や他市町在住の障害者支援にも携わっております。また、他事業所では受けられないような困難ケースも対応していることから当事業所の信頼を得ております。ただ、対応件数の増加によりきめ細かいケースワークがむずかしくなっている現状もあり、今年度は年間の受案件数を計画的に調整し、仕事の適正量を見定めることに着手しました。本来であれば支援希望にこたえることが理想ですが、相談支援専門員が専門性を発揮するためにはメンタルヘルスの維持も重要なことですので、今年度の結果をもとに今後の事業展開について引き続き検討していきたいと思っております。

### 2 指定一般相談支援事業

長期入院者や入所者の地域移行や地域定着の相談支援を主とした本事業は、国が施策としてすすめている「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の実現に向けても大切な社会資源として、その必要性は高まっております。

本事業所では毎年1件以上の個別給付による支援を計画的にすすめており、今年度も施設入所からグループホームへの地域移行の実績が1件ありました。精神科病院からの退院支援の相談は随時ありますが、個別給付の対象ではない方がほとんどでした（相談対応のみ）。まだまだ障害福祉計画でうたわれている目標退院者数には及びませんが、引き続き県内の精神科病院や入所施設との関係を円滑・強化し、希望に応じたサービス提供がスムーズにできるよう体制を整備しています。

### 3 指定障害児相談支援事業

本事業は、障害児の健やかな発達のために家族や関係機関との連携をもとに、就学や就職などライフステージに合った支援をすすめることができるよう、日々の基本相談を大切に、信頼関係を深めていくことを心掛けています。令和6年3月31日現在の登録児童は約75名ですが、特定相談同様、今年度は受案件数の調整を行い、ていねいな支援を継続できるようすすめてきました。引き続き「サービス利用するため」だけの相談支援ではなく、療育や家族支援の視点も備えた多角的な相談支援をすすめていくことができるよう自己研鑽の機会を計画的に実施する必要があります。

### 4 その他

- ・本事業は2名の相談支援専門員が担当しており、市自立支援協議会の運営においても中心的に関わり、市の障害福祉や地域福祉の発展に向けての取り組みをすすめています。
- ・県が地域の中核となる相談支援専門員の養成を目的に実施した「相談支援リーダー研修」に参加し、相談支援専門員を養成する法定研修の運営にも関わってきました。その他、各種研修に積極的に参加すると共に、行政や関係団体からの講師依頼の業務も多く受けています。

## 指定放課後等デイサービス事業所かぜのこ・児童発達支援事業所ふわり事業報告

はじめに

多機能型事業所として定員10名での運営となっています。放課後等デイサービスの利用児数は増えていますが、児童発達支援については昨年度から減少傾向にあり、日平均実利用者数も定員に至っていない状況となっています。

昨年度当初に利用者数増加を目的に、児童発達支援のパンフレットを新しく作り関係機関へ配布し広報活動をおこないましたが、大きな効果は得られませんでした。保護者からの信頼獲得とスタッフへの適切な指導が不足していることが定員に至らない原因の1つだと考えています。

### 1、利用実績

(ふわり)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	20	22	22	22	21	21	22	22	22	20	21	22	257
延利用人数	48	31	37	52	61	45	39	50	57	46	58	69	593
日平均実利用者数	2.40	1.41	1.68	2.64	2.90	2.14	1.77	2.27	2.59	2.30	2.76	3.14	2.33

(かぜのこ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	20	22	22	21	21	20	22	22	22	20	21	22	255
延利用人数	109	139	138	103	118	114	127	132	123	128	125	126	1,482
日平均実利用者数	5.45	6.32	6.27	4.90	5.62	5.70	5.77	6.00	5.59	6.40	5.95	5.73	5.81

(ふわり、かぜのこ合計)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計日平均実利用者数	7.85	7.73	7.95	7.54	8.52	7.84	7.54	8.27	8.18	8.7	8.71	8.87	8.14

(事業実施状況)

事業	実施日	参加人数	事業	実施日	参加人数
ふわり保護者交流会①	7月8日	6名	かぜのこ保護者事業所見学会	11月23日	8名
かぜのこまつり	8月12日	19名	クリスマス会	12月18日～ 12月22日	当日利用児
ふわりまつり	9月18日	25名	ふわり保護者交流会②	3月2日	18名
かぜのこ施設外学習学習(千手山公園)	11月3日	6名			

## 2、概ね達成できたもの

- ・週ごとに課題内容を変更することでの、日常生活に必要なスキルの維持・向上ための様々な事を経験する機会を提供しました。
- ・実習生や見学者を積極的に受け入れると共に、職員の他事業所見学などで風通しの良い施設作りと職員の勉強の機会を確保しました。
- ・保護者同士の交流の場を設けると共に、事業所での療育内容や法人内の事業をお伝えする機会を設けることができました（ふわり保護者交流会 計2回、かぜのこ保護者事業所見学会）。
- ・事業所での療育内容を多くの方に知っていただくための広報活動としてInstagram（インスタグラム）の開設を行いました。

## 3、達成に至らなかったこと

- ・保護者支援として、すべての保護者に対し個別での面談の場を設けることができませんでした。
- ・ペアレントトレーニング（障がいを持つ、またその疑いのある子どものご家族を対象にしたプログラム）実施のための研修を受講することができませんでした。
- ・生き物の飼育やふれあい、野菜の栽培など感受性を養う療育が実施できませんでした。
- ・他事業所、保育園、幼稚園、相談支援、行政など関係機関との連携が十分に行えませんでした。
- ・保育士や理学療法士、作業療法士など専門的視点を持った職員の採用が行えませんでした。

## 4、今後の課題

- ・職員が自信を持って療育・支援を提供できるよう研修や事業所内勉強会など、継続的な知識、技術のスキルアップが必要です。
- ・安心して利用児を受け入れるために常勤職員の雇用が必須であると共に、保護者の安心や信頼を得るために、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などの専門職員のスポットでの雇用を進めていく必要があります。
- ・ホームページ、SNSによる積極的な広報活動が必要です。



## 日中一時支援事業所あゆみ事業報告

### はじめに

日中一時支援事業あゆみは、ご利用される方々の安全を第一と考えると共に、可能な限りご本人やご家族のニーズに合わせた受入れを行ってまいりました。また利用者一人ひとりの障害特性や利用者間の相性などを考慮した上で、利用スケジュールを調整し、トラブルや怪我の予防にも繋げてまいりました。

緊急的な依頼についても、可能な限り調整・受入れを行ってきたことで、ご家族との信頼関係の構築にも繋げることができているため、今後の利用に繋がるようなサービスを提供していきたいと考えています。

### 1、利用状況

延利用者数 3,500人（前年度比 +322人）

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
利用者数	296	278	290	285	298	290	308	271	328	308	250	298
1日平均利用者数	9.86	8.96	9.66	9.19	9.61	9.66	9.93	9.03	10.58	9.93	8.62	9.61

### 2、活動内容と達成できたもの

- ・可能な限り利用者及び家族の要望に沿ったサービス提供を行いました。
- ・感染対策のご協力を了承していただいた上で、施設の見学を行うことができました。
- ・モニタリングや面談等ではできませんでしたが、電話による聴き取りをすることで情報共有を図ることができました。
- ・担当者会議に参加することで、保護者や各関係機関との連携、情報共有を図りより良いサービスの提供に努めました。
- ・コロナ禍の為、ボランティアや実習生及びアルバイトの積極的な受け入れができませんでした。
- ・利用者、職員の検温、施設内及び送迎車両の消毒、飛沫防止ボードの設置など感染予防を図り、安心してご利用いただけるように環境整備をしました。

### 3、今後の課題と目標

利用者及びご家族が安心してご利用できるように、引き続き感染対策に努めます。週末のご利用においては、他事業所の感染対策に対する方針も少しずつ緩和されてきている為、今までご利用を控えていた方々の受入れを積極的に調整していきます。また、平日の日中一時の需要も高まっている為、ニーズに応えながらも日中一時にとどまらず、他のサービスにもお繋ぎし、あゆみ園で長く広く利用していただけるような体制や環境を整備することが課題と思われまます。